

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 新郷工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町新郷1-4

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業  
細分類番号:2353

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 内製高(百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成25年度 ( 2013 )	令和7年度 ( 2025 )	令和3年度 ( 2021 )	令和4年度 ( 2022 )	令和5年度 ( 2023 )	令和6年度 ( 2024 )	令和7年度 ( 2025 )	
エネルギー 起源CO2	3.53	2.39	4.55					
		-32.29	-28.90	100.00	100.00	100.00	100.00	
非エネルギー 起源CO2		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
メタン		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
一酸化二窒素		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他 温室効果ガス		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
温室効果ガス 排出量総計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	1.36	0.92	1.75					
		-32.29	-28.90	100.00	100.00	100.00	100.00	
実績に対する自己 評価	コロナウイルスの影響で減産したが、暖機運転時間など内製高に反映されないエネルギーの使用量が変わらない為、令和3年度の排出量が削減できなかった							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	重油使用量の削減	重油使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解炉断熱向上, 効率向上</li> <li>・可動率の向上</li> <li>・不良低減</li> </ul>
2	LPG使用量の削減	LPG使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動率向上・不良低減</li> <li>・中子加熱時間低減</li> <li>・中子造型係不良対策</li> </ul>
3	電気使用量の削減	電気使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オイルコン・ダクトの放熱対策による、エアコン電気量削減</li> <li>・エアールール対策やエアーの使用量見直しによるエアコンプレッサー台数削減</li> <li>・水銀灯からLEDに変更</li> </ul>
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ラインの暖機時間見直し、クーラント流量見直しによる、クーラントポンプ台数削減</li> </ul>

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	廃液量の削減	廃液を令和12年末までに令和元年比18%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーラント漏れ対策・寿命延長</li> <li>・水没リーク水の劣化防止</li> </ul>
2	紙購入量の削減	紙を令和12年末までに令和元年比19%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書電子化による、紙削減</li> </ul>
3	切削油使用量の削減	令和12年末までに令和元年比11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーラントE低減</li> <li>・飛散対策</li> <li>・不良削減による、クーラント使用量削減</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。